神　戸　税　関
わたしのまちの National Gate
2026 年 10 月 21 日

カカオ豆の輸入

- 神戸港は全国港別で 数量・金額とも全国第2位のシェア（西日本１位）！
- 2025 年の輸入額は神戸港・全国ともに過去最高！

１．はじめに



港町・神戸に、「スイーツの街」というイメージを持つ方は多いのではないでしょうか。

なかでもチョコレートは、多くの人に親しまれているスイーツの定番です。その豊かな香りと味わいの源をたどると、遠く海外の産地で育まれたカカオ豆に行き着きます。

カカオはアオイ科の植物で、赤道を挟んだ南北およそ 20 度の範囲に広がる「カカオベルト」と呼ばれる地域で栽培されています。アフリカや東南アジア、中南米などの高温多湿な地域が主な産地であり、日本ではカカオの生育に適した環境が限られていることから、国内で使用されるカカオ豆のほとんどを輸入に頼っています。

カカオの果実は「カカオポッド」と呼ばれ、その中には白い果肉に包まれた種子が入っています。この種子を発酵・乾燥させたものが「カカオ豆」で、さまざまなカカオ製品の原料として利用されています。

秋は、世界有数のカカオ豆生産地である西アフリカで、主な収穫期を迎える季節です。

収穫されたカカオ豆は船に積み込まれ、世界各地へと運ばれていきます。その受け入れ拠点の一つである神戸港は、日本を代表するカカオ豆の輸入港として国内のチョコレート産業を支えています。

今回は、私たちに身近なチョコレートの原料であるカカオ豆の輸入についてご紹介します。

・ 本資料における「カカオ豆」は、輸入統計品目表 1801.00-000 の「カカオ豆（生のもの及びいつたもので、全形のもの及び割つたものに限る。）」を集計対象としたものであり、ココア粉やチョコレートなどの調製食料品は含まれません。
・ 本資料は、統計として比較可能な 1988 年以降のデータを基礎としています。
・ 本資料における数値は、2024 年以前は確定値、2025 年は確々報値、2026 年は確報値です。
・ 金額は百万円単位で表示しており、四捨五入を行っています。

2．輸入動向

（1）輸入実績推移

・神戸港、全国ともに金額は過去最高！

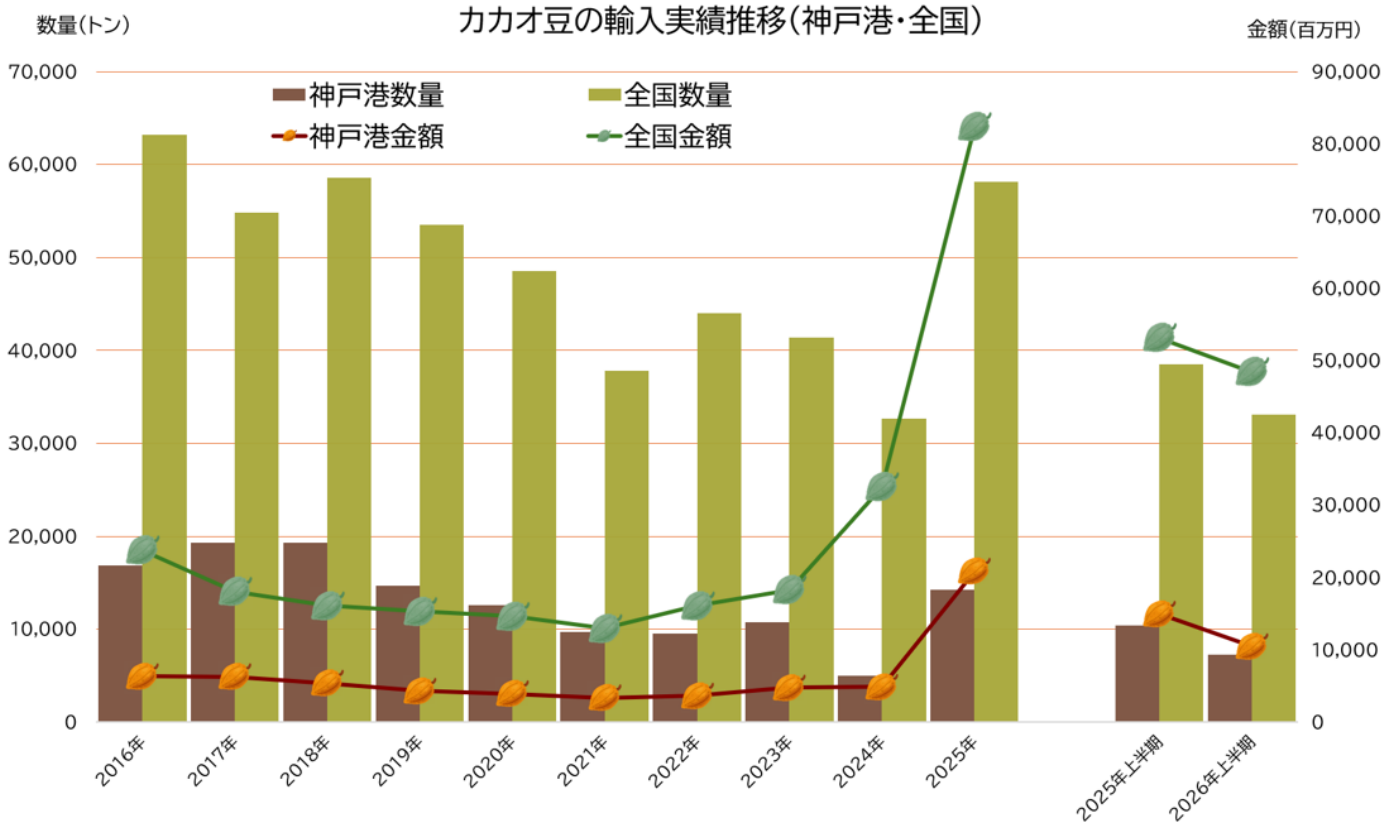
2025 年のカカオ豆の輸入は

〔神戸港〕　数量　14,215 トン、金額　208 億 8,100 万円

〔全　国〕　数量　58,198 トン、金額　823 億 8,100 万円

でした。輸入額は、神戸港で前年比 4.3 倍、全国で前年比 2.5 倍と大幅に増加し、神戸港、全国ともに過去最高を記録しました。輸入数量も神戸港で前年比 2.8 倍、全国で前年比 1.8 倍と増加しましたが、金額が数量を上回る伸びとなっており、カカオ豆の価格水準の上昇が輸入額増加の要因の一つとなっています。

その背景には、2024 年に西アフリカの主要生産国で不作が発生し、世界的な供給不足によりカカオ豆価格が高騰した、いわゆる「カカオショック」があります。こうした状況の中、2025 年は西アフリカ地域の生産回復に加え、前年に滞っていた船積み分の到着や、需要者による供給確保の動きなどもあり、輸入数量が大幅に増加しました。また、ガーナ産を中心としながら、中南米などからも調達が進み、輸入先にも広がりがみられました。このように、カカオ豆を取り巻く環境が大きく変化する中で、安定供給の確保に向けた取り組みが進められています。



【コラムその 1】神々の食べ物が神戸港へ

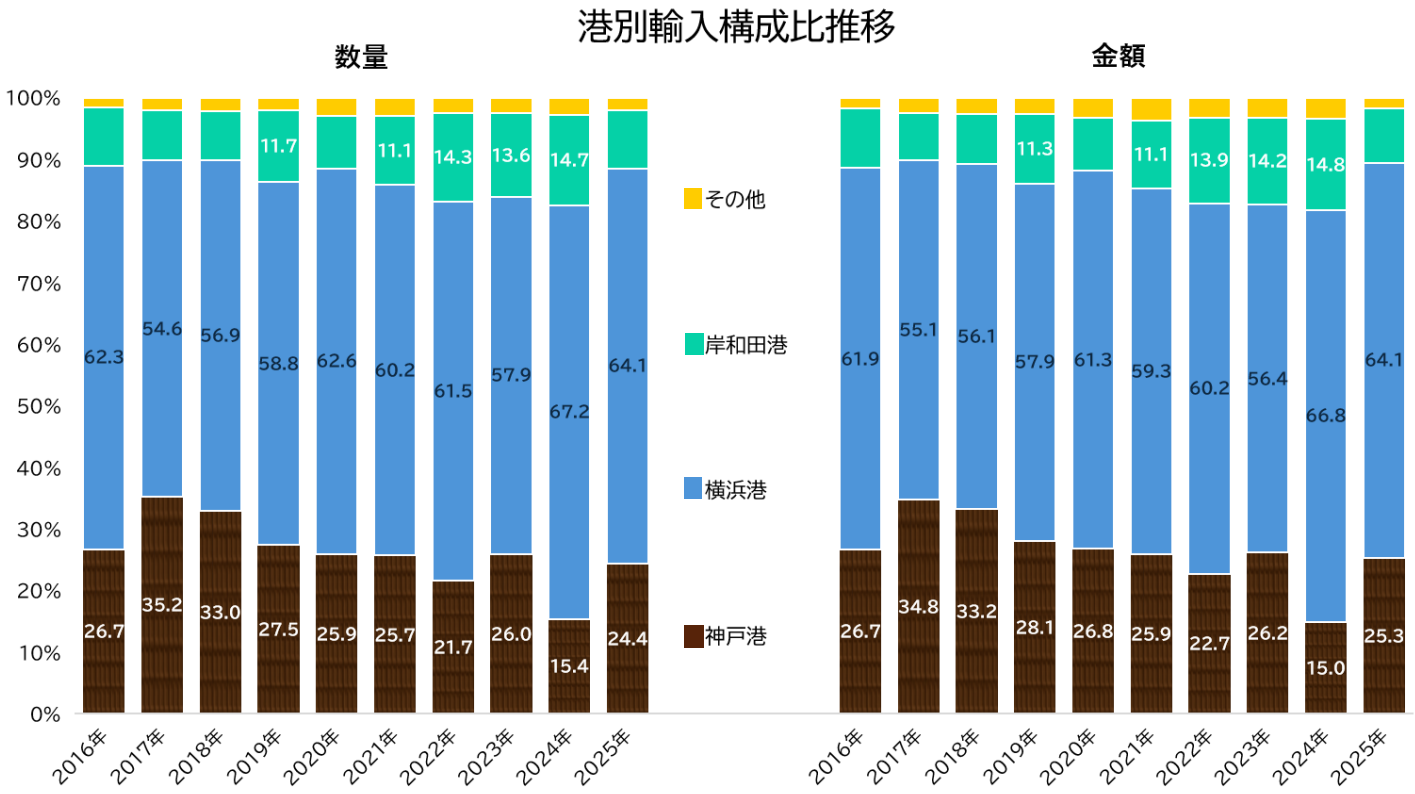
カカオの学名は「テオブロマ・カカオ」。ギリシャ語で「神々の食べ物」を意味します。

古代中南米では、カカオは貴重な飲料として親しまれたほか、通貨としても用いられていました。かつては王侯貴族など限られた人々が口にする特別な存在だったともいわれています。そんな「神々の食べ物」が、時代を超えて、神戸港を通じて輸入され、私たちのもとへ届けられています。

（2）港別輸入実績

・神戸港は数量・金額ともに 1988 年以降 38 年連続で全国第２位！

過去 10 年間の推移をみると、神戸港の全国シェアは 2017 年の数量 35.2%、金額 34.8%をピークにその後は低下傾向にあり、2024 年には数量 15.4%、金額 15.0%となりました。しかし、2025 年にはそれぞれ 24.4%、25.3%まで上昇し、シェアが大きく回復しました。なお、神戸港は数量・金額ともに 1988 年以降 38 年連続で全国第２位を維持しています。



神戸港がカカオ豆の輸入港として多く利用される理由としては、関西圏の需要者や取引先へのアクセスの良さに加え、国際航路や港湾物流機能の充実、植物検疫や通関手続に対応した受入体制などが挙げられます。

カカオ豆は品質管理が重要な農産品です。主要産地である西アフリカから日本までの輸送には、約２か月を要することもあるため、輸送中の結露やカビ、異臭、害虫、水濡れなどへの対策が欠かせません。また、日本到着後も適切な温度・湿度管理の下での保管が求められます。

神戸港は、こうしたカカオ豆の特性に対応した物流・保管体制を強みとしており、カカオ豆の輸入を支える主要なゲートウェイとなっています。

【コラムその2】神戸はスイーツの街ですが・・・

総務省の家計調査は、世帯のさまざまな商品やサービスへの支出を調べる統計です。

2023 年～2025 年の平均でみると、神戸市のチョコレートへの支出額は全国第 28 位、チョコレート菓子への支出額は全国第 50 位となっています。

神戸は「スイーツの街」として知られているだけに、意外に感じる方もいるかもしれません。ほかのスイーツの支出状況と合わせて見てみると、神戸ならではのスイーツの楽しみ方や好みの傾向が見えてくるかもしれません。

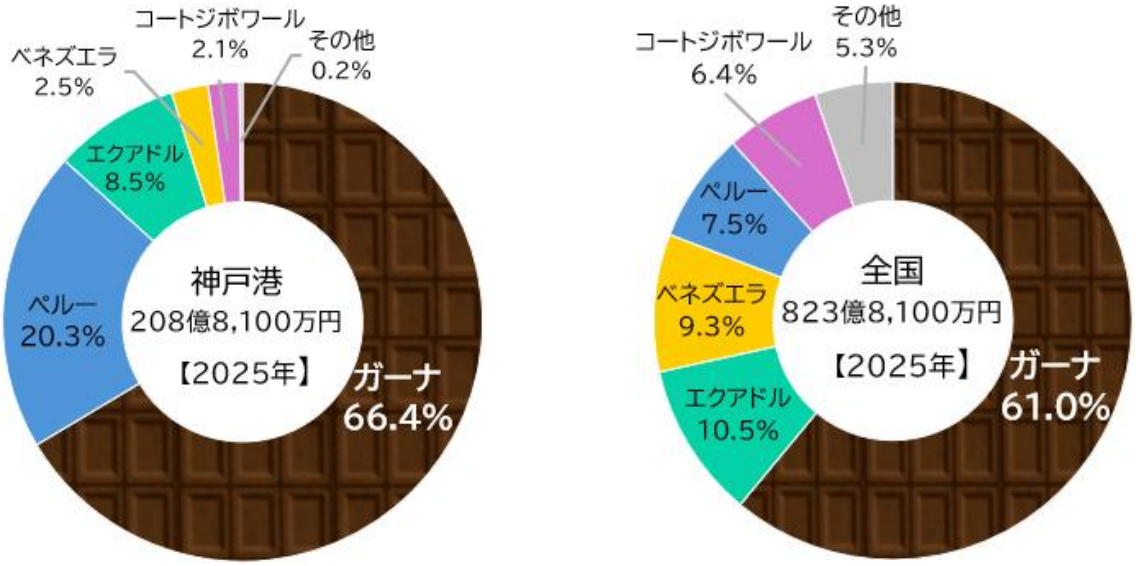
※順位は、都道府県庁所在都市 47 都市と県庁所在都市以外の政令指定都市 5 都市の計 52 都市での順位です。

（3）国・地域別輸入実績

・神戸港はガーナを中心に、ペルーからも多く輸入！

2025 年の神戸港におけるカカオ豆の輸入を金額ベースで国・地域別にみると、ガーナが全体の66.4%を占め、最大の調達先となっています。次いでペルー20.3%、エクアドル 8.5%となっており、ガーナを中心としながら、中南米からもカカオ豆が輸入されています。全国でもガーナが 61.0%と最も多く、エクアドル、ベネズエラ、ペルー、コートジボワールなどが続いています。

カカオ豆は、原産国や品種、発酵・乾燥方法などによって風味や品質が異なります。ガーナやコートジボワールなどの西アフリカ産のカカオ豆は、力強いカカオの風味とバランスの良さが特徴とされる一方、エクアドルやペルーなどの中南米産のカカオ豆は、華やかな香りや果実味を感じさせるものもあり、産地ごとの特色を生かした製品が作られています。

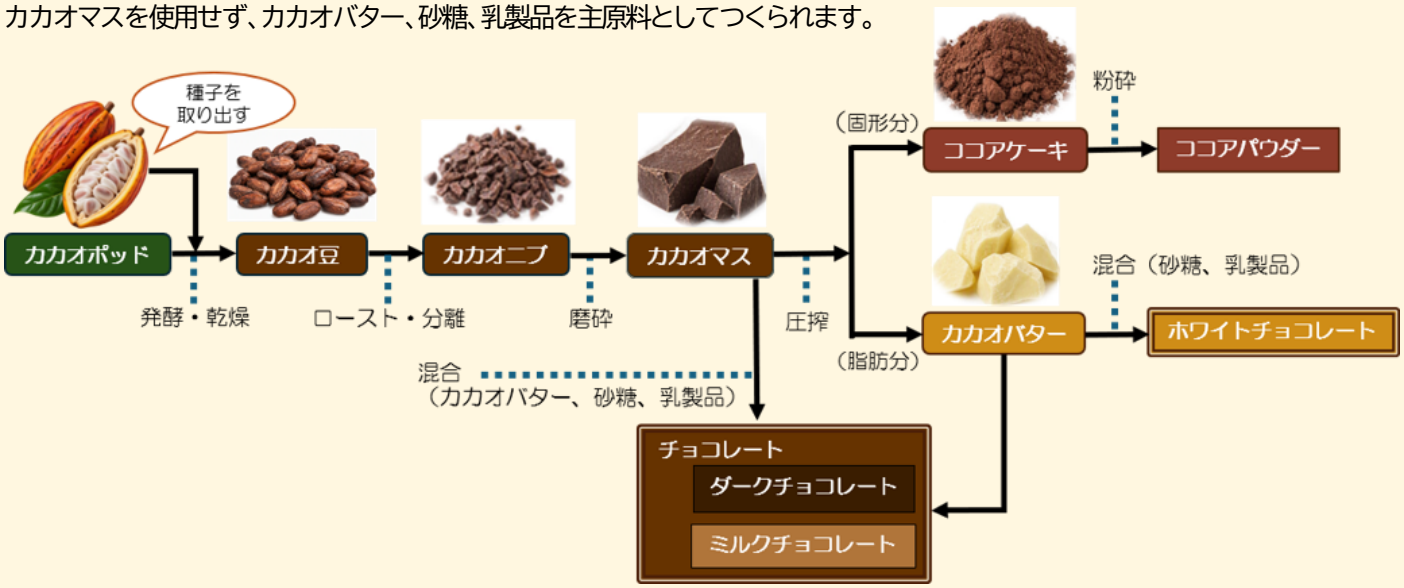


【コラムその3】チョコレートの種類

あなたはホワイト、ミルク、ダークチョコレートのどれがお好みですか。

実は、それぞれの味わいや色合いの違いは、使われる原料によるものです。

カカオポッドから取り出したカカオ豆(種子)は、発酵･乾燥･ローストなどの工程を経て「カカオニブ」となり、さらにすり潰すと「カカオマス」になります。カカオマスを圧搾すると、「ココアケーキ」と「カカオバター」に分離されます。ダークチョコレートは主にカカオマス、カカオバター、砂糖から、ミルクチョコレートはこれらに乳製品を加えたものです。一方、ホワイトチョコレートはカカオマスを使用せず、カカオバター、砂糖、乳製品を主原料としてつくられます。



３．おわりに

近年、カカオ豆に含まれる成分の一つであるカカオポリフェノールの健康への効果に関する研究が進められているほか、カカオ生産地における児童労働の防止や森林破壊の抑制など、人権や環境に配慮したサステナビリティへの関心も高まっています。

一方で、カカオ豆の国際価格は高騰しており、チョコレート製品の値上げが相次ぐなか、原料の安定確保や調達先の多様化に向けた取り組みも進められています。

さらに、カカオ豆の品質や産地ごとの特徴を生かした商品づくりとして、カカオ豆の選定からロースト、チョコレートの製造までを一貫して行う「Bean to Bar（ビーントゥバー）」という製造スタイルが注目されています。特定の産地のカカオ豆のみを使用した「シングルオリジンチョコレート」も、こうした商品づくりの一例です。また、近年はカカオニブやココアパウダーなど、カカオ本来の風味を楽しむ製品への需要も広がっています。

カカオ豆は単なるチョコレートの原料ではなく、産地や品種に加え、栽培環境や生産者の取り組みなどによってさまざまな特徴を持つ農産物としてその価値が改めて見直されています。

この機会に、カカオ豆の産地や特徴にも目を向け、その違いがもたらす多彩な香りや味わいを楽しんでみてはいかがでしょうか。



○本資料を転載するときは、神戸税関の資料に基づく旨を注記してください。

○本資料に関しては、以下にお問い合わせください。
神戸税関調査部調査統計課　TEL 078-333-3065
神戸税関ホームページ　https://www.customs.go.jp/kobe/


税関イメージキャラクター
カスタムくん


神戸税関イメージキャラクター
カスタムちゃん

カカオ豆の輸入数値表＜輸入統計品目番号 1801.00-000＞

◆輸入実績推移

年	全国				神戸港					
	数量(MT)		金額(百万円)		数量(MT)			金額(百万円)		
		前年比		前年比		前年比	全国比		前年比	全国比
1988年	40,973	—	10,889	—	15,543	—	37.9%	3,924	—	36.0%
1989年	44,510	108.6%	9,812	90.1%	16,383	105.4%	36.8%	3,423	87.2%	34.9%
1990年	47,599	106.9%	10,599	108.0%	15,276	93.2%	32.1%	3,177	92.8%	30.0%
1991年	50,516	106.1%	10,134	95.6%	16,652	109.0%	33.0%	3,066	96.5%	30.3%
1992年	46,174	91.4%	8,999	88.8%	15,805	94.9%	34.2%	2,875	93.8%	31.9%
1993年	37,648	81.5%	5,588	62.1%	13,528	85.6%	35.9%	1,897	66.0%	33.9%
1994年	36,142	96.0%	5,505	98.5%	13,069	96.6%	36.2%	1,926	101.5%	35.0%
1995年	40,996	113.4%	6,245	113.4%	12,146	92.9%	29.6%	1,815	94.2%	29.1%
1996年	49,649	121.1%	8,627	138.1%	17,910	147.5%	36.1%	3,094	170.5%	35.9%
1997年	49,339	99.4%	9,973	115.6%	16,788	93.7%	34.0%	3,379	109.2%	33.9%
1998年	43,325	87.8%	10,875	109.0%	12,536	74.7%	28.9%	3,157	93.4%	29.0%
1999年	46,902	108.3%	8,929	82.1%	12,855	102.5%	27.4%	2,367	75.0%	26.5%
2000年	49,397	105.3%	6,603	73.9%	13,474	104.8%	27.3%	1,736	73.3%	26.3%
2001年	49,065	99.3%	7,262	110.0%	12,874	95.6%	26.2%	1,868	107.6%	25.7%
2002年	49,138	100.1%	11,334	156.1%	15,394	119.6%	31.3%	3,429	183.6%	30.3%
2003年	63,600	129.4%	17,075	150.6%	20,840	135.4%	32.8%	5,572	162.5%	32.6%
2004年	56,634	89.0%	12,210	71.5%	13,131	63.0%	23.2%	2,977	53.4%	24.4%
2005年	55,590	98.2%	11,005	90.1%	15,179	115.6%	27.3%	2,979	100.1%	27.1%
2006年	62,807	113.0%	14,545	132.2%	16,310	107.5%	26.0%	3,736	125.4%	25.7%
2007年	68,635	109.3%	19,349	133.0%	19,588	120.1%	28.5%	5,377	143.9%	27.8%
2008年	28,800	42.0%	8,131	42.0%	8,755	44.7%	30.4%	2,314	43.0%	28.5%
2009年	50,625	175.8%	13,275	163.3%	6,699	76.5%	13.2%	1,654	71.5%	12.5%
2010年	44,530	88.0%	14,620	110.1%	11,408	170.3%	25.6%	3,752	2.3倍	25.7%
2011年	52,169	117.2%	15,391	105.3%	16,239	142.4%	31.1%	4,784	127.5%	31.1%
2012年	51,059	97.9%	12,614	82.0%	11,604	71.5%	22.7%	2,842	59.4%	22.5%
2013年	40,976	80.3%	10,643	84.4%	10,197	87.9%	24.9%	2,651	93.3%	24.9%
2014年	31,760	77.5%	10,739	100.9%	6,150	60.3%	19.4%	2,120	80.0%	19.7%
2015年	40,105	126.3%	16,708	155.6%	8,993	146.2%	22.4%	3,752	177.0%	22.5%
2016年	63,191	157.6%	23,800	142.4%	16,890	187.8%	26.7%	6,358	169.4%	26.7%
2017年	54,836	86.8%	18,056	75.9%	19,329	114.4%	35.2%	6,279	98.8%	34.8%
2018年	58,617	106.9%	16,113	89.2%	19,344	100.1%	33.0%	5,357	85.3%	33.2%
2019年	53,548	91.4%	15,332	95.1%	14,712	76.1%	27.5%	4,312	80.5%	28.1%
2020年	48,533	90.6%	14,644	95.5%	12,592	85.6%	25.9%	3,924	91.0%	26.8%
2021年	37,820	77.9%	12,953	88.5%	9,725	77.2%	25.7%	3,357	85.6%	25.9%
2022年	44,042	116.5%	16,091	124.2%	9,551	98.2%	21.7%	3,657	108.9%	22.7%
2023年	41,378	93.9%	18,291	113.7%	10,756	112.6%	26.0%	4,792	131.0%	26.2%
2024年	32,665	78.9%	32,538	177.9%	5,027	46.7%	15.4%	4,874	101.7%	15.0%
2025年	58,198	178.2%	82,381	2.5倍	14,215	2.8倍	24.4%	20,881	4.3倍	25.3%
2026年上半期	33,088	85.9%	48,453	91.0%	7,263	70.0%	21.9%	10,503	70.0%	21.7%

◆港別輸入実績(数量)　　(数量:MT)

年	全国	神戸港		横浜港		岸和田港		名古屋港		東京港		その他	
			全国比		全国比		全国比		全国比		全国比		全国比
2016年	63,191	16,890	26.7%	39,354	62.3%	5,998	9.5%	876	1.4%	45	0.1%	29	0.0%
2017年	54,836	19,329	35.2%	29,964	54.6%	4,445	8.1%	1,003	1.8%	50	0.1%	45	0.1%
2018年	58,617	19,344	33.0%	33,375	56.9%	4,658	7.9%	1,111	1.9%	56	0.1%	73	0.1%
2019年	53,548	14,712	27.5%	31,511	58.8%	6,268	11.7%	914	1.7%	56	0.1%	87	0.2%
2020年	48,533	12,592	25.9%	30,382	62.6%	4,143	8.5%	1,329	2.7%	53	0.1%	34	0.1%
2021年	37,820	9,725	25.7%	22,764	60.2%	4,199	11.1%	994	2.6%	38	0.1%	100	0.3%
2022年	44,042	9,551	21.7%	27,097	61.5%	6,318	14.3%	937	2.1%	73	0.2%	66	0.1%
2023年	41,378	10,756	26.0%	23,966	57.9%	5,633	13.6%	912	2.2%	52	0.1%	59	0.1%
2024年	32,665	5,027	15.4%	21,956	67.2%	4,790	14.7%	814	2.5%	35	0.1%	43	0.1%
2025年	58,198	14,215	24.4%	37,316	64.1%	5,512	9.5%	1,052	1.8%	59	0.1%	44	0.1%
2026年上半期	33,088	7,263	21.9%	22,467	67.9%	2,474	7.5%	835	2.5%	32	0.1%	18	0.1%

◆港別輸入実績(金額)　　(金額:百万円)

年	全国	神戸港		横浜港		岸和田港		名古屋港		東京港		その他	
			全国比		全国比		全国比		全国比		全国比		全国比
2016年	23,800	6,358	26.7%	14,735	61.9%	2,314	9.7%	324	1.4%	38	0.2%	31	0.1%
2017年	18,056	6,279	34.8%	9,947	55.1%	1,389	7.7%	350	1.9%	46	0.3%	45	0.3%
2018年	16,113	5,357	33.2%	9,038	56.1%	1,294	8.0%	303	1.9%	53	0.3%	68	0.4%
2019年	15,332	4,312	28.1%	8,882	57.9%	1,737	11.3%	268	1.7%	52	0.3%	81	0.5%
2020年	14,644	3,924	26.8%	8,984	61.3%	1,262	8.6%	390	2.7%	42	0.3%	42	0.3%
2021年	12,953	3,357	25.9%	7,686	59.3%	1,432	11.1%	329	2.5%	32	0.2%	117	0.9%
2022年	16,091	3,657	22.7%	9,684	60.2%	2,232	13.9%	354	2.2%	73	0.5%	90	0.6%
2023年	18,291	4,792	26.2%	10,322	56.4%	2,597	14.2%	437	2.4%	57	0.3%	85	0.5%
2024年	32,538	4,874	15.0%	21,741	66.8%	4,821	14.8%	948	2.9%	66	0.2%	88	0.3%
2025年	82,381	20,881	25.3%	52,829	64.1%	7,281	8.8%	1,145	1.4%	140	0.2%	106	0.1%
2026年上半期	48,453	10,503	21.7%	32,681	67.4%	4,031	8.3%	1,132	2.3%	60	0.1%	48	0.1%

◆国・地域別輸入実績(神戸港金額)　　(金額:百万円)

年	全世界	ガーナ		ペルー		エクアドル		ベネズエラ		コートジボワール		その他	
			構成比		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比
2016年	6,358	4,989	78.5%	130	2.1%	801	12.6%	220	3.5%	—	—	217	3.4%
2017年	6,279	4,797	76.4%	81	1.3%	854	13.6%	255	4.1%	—	—	293	4.7%
2018年	5,357	3,819	71.3%	121	2.3%	784	14.6%	290	5.4%	—	—	343	6.4%
2019年	4,312	2,950	68.4%	46	1.1%	813	18.8%	121	2.8%	—	—	382	8.9%
2020年	3,924	2,717	69.2%	133	3.4%	573	14.6%	143	3.6%	—	—	358	9.1%
2021年	3,357	2,685	80.0%	—	—	493	14.7%	54	1.6%	—	—	126	3.7%
2022年	3,657	2,246	61.4%	12	0.3%	1,119	30.6%	74	2.0%	—	—	206	5.6%
2023年	4,792	3,062	63.9%	84	1.8%	986	20.6%	65	1.4%	—	—	594	12.4%
2024年	4,874	2,993	61.4%	34	0.7%	1,670	34.3%	—	—	—	—	177	3.6%
2025年	20,881	13,868	66.4%	4,240	20.3%	1,774	8.5%	516	2.5%	438	2.1%	45	0.2%
2026年上半期	10,503	8,767	83.5%	409	3.9%	989	9.4%	151	1.4%	—	—	188	1.8%

◆国・地域別輸入実績(全国金額)　　(金額:百万円)

年	全世界	ガーナ		エクアドル		ベネズエラ		ペルー		コートジボワール		その他	
			構成比		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比
2016年	23,800	17,790	74.7%	1,758	7.4%	2,293	9.6%	155	0.7%	645	2.7%	1,159	4.9%
2017年	18,056	12,945	71.7%	2,040	11.3%	1,425	7.9%	101	0.6%	451	2.5%	1,093	6.1%
2018年	16,113	11,215	69.6%	1,926	12.0%	1,107	6.9%	164	1.0%	744	4.6%	958	5.9%
2019年	15,332	10,588	69.1%	1,729	11.3%	1,311	8.5%	88	0.6%	549	3.6%	1,067	7.0%
2020年	14,644	11,167	76.3%	1,308	8.9%	732	5.0%	172	1.2%	512	3.5%	753	5.1%
2021年	12,953	9,447	72.9%	1,414	10.9%	879	6.8%	30	0.2%	562	4.3%	620	4.8%
2022年	16,091	11,494	71.4%	2,270	14.1%	816	5.1%	55	0.3%	576	3.6%	879	5.5%
2023年	18,291	13,239	72.4%	2,290	12.5%	881	4.8%	128	0.7%	613	3.4%	1,140	6.2%
2024年	32,538	22,104	67.9%	3,775	11.6%	1,345	4.1%	96	0.3%	3,236	9.9%	1,982	6.1%
2025年	82,381	50,269	61.0%	8,679	10.5%	7,662	9.3%	6,142	7.5%	5,280	6.4%	4,349	5.3%
2026年上半期	48,453	38,472	79.4%	2,621	5.4%	1,333	2.8%	460	1.0%	3,192	6.6%	2,376	4.9%